

特許ビジネスフェアinわかやま

日時 平成19年12月6日(木) 14:30 ~
会場 和歌山ビッグ愛 (和歌山市手平2-1-2) 603会議室(6階)

「わかやまテクノビジネスフェア '07」と同時開催!

「特許ビジネスフェアinわかやま」は、特許等を保有する企業により、地域の課題解決につながる特許・技術シーズを地域の企業に対して紹介して頂き、新たなビジネス展開を支援するものです。

主催者挨拶

14:35 14:50	「真珠層タンパク質の多様性」 出願番号: 2005-088644 和歌山県地域結集型共同研究事業	アコヤガイの真珠には様々なタンパク質が含まれており、これらのタンパク質により真珠の品質は大きく左右されると考えられる。私たちのグループでは、アコヤガイ真珠層に存在するタンパク質を明らかにし、良質真珠の生産に資することを目的に研究を行っている。
14:50 15:05	「光触媒チタンアパタイト技術」 登録番号: 3928596 富士通株式会社	従来の光触媒材料(酸化チタン:TiO ₂)とは異なる、新たな光触媒材料をご紹介します。当該材料は樹脂への練り込みが可能(樹脂基材を劣化させない)で、当該樹脂を応用した抗菌製品の製造が可能となります。
15:05 15:20	「表皮・胚軸を含めて大豆丸ごと加工処理した大豆ペーストの食品原料素材」 出願番号: 2004-259577 平吹修一氏	大豆は機能性成分・栄養価が豊富な食糧で食育の観点から健康保持・生活習慣病予防などの効果が期待されています。このようなことから、大豆ペーストをあらゆる食品の原料素材として活用、簡単に食卓に提供するための技術開発をしました。この大豆ペーストの食品原料素材としての活用及び休耕地での大豆耕作奨励を提案します。
15:20 15:35	「臭いによるプロセス管理」 登録番号: 4016076 和歌山工業高等専門学校	半導体ガスセンサーのヒーター電力を変調することにより、ガスセンサーの温度を変調し、その際のセンサーの過渡応答の遅れ時間がガスの種類によって異なることを利用してガスの種類を識別する手法。

休憩

15:45 16:00	「殺虫性タンパク質顆粒生成菌のスクリーニング及びその利用」 登録番号: 3854992 近畿大学生物理工学部	PCRを利用して殺虫タンパク質遺伝子を高感度で探し出すスクリーニング法を開発するとともに、新規cry遺伝子をもつ菌株を多数分離した。さらに、cry遺伝子からタンパク質を高発現・精製するシステムも開発済である。
16:00 16:15	「セルロースマイクロフィブリルを用いた高強度材料」 登録番号: 3641690 関西ティール・エル・オー株式会社	セルロースマイクロフィブリルに熱硬化樹脂、熱可塑性樹脂、デンブンを添加することにより金属に匹敵する材料を提供する。生分解性プラスチックを添加すれば自然にかえる環境にやさしい材料が得られる。
16:15 16:30	「ポリマー-金属複合体」 出願番号: 2006-015513 関西ティール・エル・オー株式会社	室温下での溶液による処理という簡便な方法で、高分子材料中に金属粒子を析出させる。析出面が外側の平滑なものになるので、「銀鏡反応」でフラスコ内面が鏡面化されるように金属光沢が強く現れる。
16:30 16:45	「木材分解物の接着剤利用」 登録番号: 385502 和歌山県工業技術センター	木材をヒドロキシカルボン酸で分解し、得られた液体を木質材料用の接着剤に用いる。また、得られた液体を、未硬化エポキシ樹脂の硬化剤及びエポキシ樹脂、ウレタン樹脂の材料として用いる。

主催: 和歌山県、財団法人わかやま産業振興財団 共催: 社団法人発明協会和歌山県支部
協力: 独立行政法人工業所有権情報・研修館

開催の概要

県内外からご参加いただいた企業・研究機関の方から、8件の特許技術に関して、それぞれ15分程度のプレゼンテーションが行われました。また、延べ人数で91名という多数の方のご参加をいただき、発表会場に併設されたパネル展示コーナー兼商談コーナーにおいては、活発な商談が行われました。

発表の状況



商談の状況



多数の皆様方のご参加をいただき、誠にありがとうございました。